

# HOUSE REGULATIONS

## ご利用規則

当ホテルでは、お客様に安全かつ快適にご滞在いただくため、宿泊約款第 10 条に基き、次の通り利用規則をさだめておりますのでご協力くださいますようお願い申し上げます。お守りいただけない場合は約款第 7 条及び 18 条によりやむを得ずご宿泊またはホテル内の諸施設のご利用をお断り申し上げます。かつ責任をおとりいただくこともございますので特にご留意くださいますようお願い申しあげます。

### <火災予防上お守りいただきたい事項>

1. 館内でご喫煙なさないで下さい。
2. 客室内では暖房用、炊事用などの火器等を持ち込みご使用なさないで下さい。
3. その他火災の原因になるような行為をなさないで下さい。

### <保安上お守りいただきたい事項>

1. ご滞在中お部屋から出られる時は、ドア及び窓の施錠をご確認下さい。
2. ご滞在中や特にご就寝の時はドアの内鍵、ドアガードをお掛け下さい。来訪客があった時は不用意に開扉なさらずご確認下さい。万一不審者と思われる場合は、直ぐにフロントへご連絡下さい。
3. 午後 10 時以降ご訪問客と客室内でのご面会はお断りいたします。
4. 宿泊登録者以外のご宿泊は、堅くお断りします。

### <貴重品、お預かり品のお取り扱いについて>

1. 現金、その他の貴重品は、必ず客室内セーフティボックスへお預け下さい。客室内での貴重品の事故に関しましては、責任は負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
2. 遺失物は、法令に基づいて処理させていただきます。（遺失物法 9 条関係）
3. お預物の保管期間は、原則として下記のとおりとさせていただきます。フロントでのお預り物 7 日間

### <お支払いについて>

1. 料金のお支払いは、通貨又は当ホテルが認めたクレジットカードにより、5 日毎にお支払いいただきます。但し、5 日間以内でも 100,000 円を越えた場合もしくはホテルから請求のあった場合は、フロントでご精算願います。
2. ホテル内のレストランなどをご署名によってご利用される場合は、必ず客室の鍵をご提示下さい。
3. 都合によりご到着時にお預かり金を申し受けることがございますのでご了承下さい。
4. 小切手でのお支払い及び両替には応じかねますのでご了承下さい。
5. ホテル内売店のお買い物代、航空券、列車バスの切符代、タクシー代、郵便切手代、お荷物運送等のお立替は、お断りさせていただきます。

### <禁止事項>

1. ホテルに他のお客様の迷惑になる様なものをお持ち込みにならないで下さい。犬、猫、小鳥、その他の動物、発火または引火性のもの、悪臭を発するもの、その他法令で所持を禁じられているものを持ち込まないで下さい。
2. ホテル内で賭博や風紀、治安を乱すような行為、他のお客様の迷惑になる様な言動はなさないで下さい。
3. ホテル内の施設、備品を所定の場所、用途以外にご使用にならないで下さい。施設、備品の現状を変更してご利用なさないで下さい。
4. 当ホテルの許可なく客室を営業行為など宿泊以外の目的にご使用にならないで下さい。
5. ホテル内の外観を損なう様なものを窓側に陳列しないで下さい。
6. ホテルで許可なく広告、宣言物を配布したり、物品の販売をしないで下さい。
7. 廊下やロビーなどに所持品を放置なさないで下さい。
8. ホテル以外より飲食物の出前をおとりにならないで下さい。
9. 未成年者のみのご宿泊は、特に保護者の許可のない限り、お断りさせていただきます。
10. 不可抗力以外の事由により建造物、備品、その他の物品を損傷、汚染、或いは紛失させた場合は、相当額を弁償していただきます。

Under Article 10 of the “Terms and Conditions for Accommodation Contracts,” this hotel has established House Regulations which all guests are required to observe in order to ensure the safety and comfort of hotel guests. If guests fail to comply with these regulations,the hotel reserves the right to discontinue the accommodation contract and to refuse use of hotel facilities. Moreover,the hotel reserves the right to require guests to compensate for loss and/or damages sustained by the hotel in accordance with Article 7 and 18 of said contract.

### <Fire Precautions>

1. Please do not smoke inside the hotel
2. No heat source may be used in guest rooms for heating or cooking.
- 3.Any other act that may cause a fire is also prohibited.

### <Security Measures>

1. Be sure to lock the door and window when leaving the room during your stay.
2. Lock the door and use the door-chain when retiring to the room. Never open the door before identifying a visitor.If a visitor is deemed suspicious,immediately contact the front desk.
3. Visitors are not permitted in guest rooms after 10:00 p.m.
4. Guests who are not registered are not allowed to stay at the hotel.

### <Valuables and Checked Articles>

1. Money and valuables must be deposited in the safety box in the room for safekeeping. The management is not responsible for loss of or damage to valuable items left in the guest’ s room.
2. Abandoned articles will be disposed of in accordance with government regulations.
3. Duration of storage of guest baggage/belongings at the front desk will be 7days.

### <Payment>

1. Payment of hotel charges are to be made at the front desk in cash(or by credit card recongnized by the hotel) every 5 days, or whenever hotel charges exceed ￥100,000 or when specifically requested by the hotel.
2. When signing restaurant chits for charging to hotel bills,the room key must be presented.
3. Under certain circumstances the hotel may request that the guest pay a deposit for hotel cherges by check be accepted.
4. The hotel will not cash checks,nor will payment of hotel charges by check be accepted.
- 5.The hotel will not make payment on behalf of guests for such expenses as shopping charges,tickets,taxi,fares,postage,or porter charges.

### <Prohibited Acts>

1. Guests may not bring onto hotel premises items that may be of nuisance to hotel guests (such as dogs ,cats ,birds, or other animals) inflammable items ,explosives,noxious-smelling items,or any illegal articles.
2. Guests may not gamble, behave in a manner contrary to public morals or public order, or annoy other hotel guests.
3. Guests may not rearrange or move furniture and fixtures from their set positions or use any such item in a manner other than that for which it was designed.
4. Guests may not use rooms for commercial activities or for purposes other than accommodation ,wihtout the approval of the hotel.
5. Guests may not display articles near the window in a way that may affect the appearance of the hotel.
6. Guests may not distribute advertising materials or sell goods on the hotel premises without approval.
7. Personal belongings may not be left in the lobby or in hallways.
8. Meals or drink may not be brought in from establishments outside the hotel.
9. Minors are not permitted to stay at the hotel without parental or guardian consent.
10. The management reserves the right to hold guests responsible for damage,contamination, or loss caused to any part of the building, its furniture, or fixtuers, except in cases attributable to force majeure causes.

# 宿 泊 約 款

## (適用範囲)

- 第1条 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当ホテルが法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

## (宿泊契約の申し込み)

- 第2条 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出てください。
- (1) 宿泊者名
- (2) 宿泊日及び到着予定時刻
- (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
- (4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルはその申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

## (宿泊契約の成立等)

- 第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払い期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

## (申込金の支払いを要しないこととする特約)

- 第4条 前第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込み金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

## (施設における感染防止対策への協力の求め)

- 第4条の2 当ホテルは宿泊しようとする者に対し、旅館業法（昭和23年法律第138号）第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。

## (宿泊契約締結の拒否)

- 第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当ホテルが旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。
- (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。

- イ、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同条第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
- ロ、暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
- ハ、法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
- (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (6) 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等（以下「特定感染症の患者等」という。）であるとき。
- (7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。）第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。
- (8) 宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
- (9) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (10) その他都道府県条例等の規定する場合に該当するとき。

## (宿泊契約締結の拒否の説明)

- 第5条の2 宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

## (宿泊客の契約解除権)

- 第6条 宿泊客は当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は、一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いにより前に宿泊客が宿泊契約を解除した時を除きます）は、別表2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の20:00（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。



# 宿 泊 約 款

## （当ホテルの契約解除権）

- 第 7 条 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第 5 条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。
- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
  - (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
    - イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
    - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
    - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
  - (3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
  - (4) 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。
  - (5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊客が障害者差別解消法第 7 条第 2 項又は第 8 条第 2 項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。
  - (6) 宿泊客が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第 5 条の 6 で定めるものを繰り返したとき。
  - (7) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
  - (8) その他都道府県条例等の規定する場合に該当するとき。
  - (9) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

## （宿泊契約解除の説明）

第 7 条の 2

宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

## （宿泊の登録）

- 第 8 条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
- (1) 宿泊客の氏名、住所及び連絡先
  - (2) 日本国内に住所を有しない外国人にあっては、国籍及び旅券番号
  - (3) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第 12 条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

## （客室の使用時間）

- 第 9 条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、15:00 から 11:00 までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
- (1) 13：00 迄 3,630 円（税込）

## （利用規則の遵守）

- 第 10 条 宿泊客は当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

## （営業時間）

- 第 11 条 当ホテルの主な設備等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリーでご案内いたします。
- (1) フロントサービス時間  
8:00 ～ 22:00
  - (2) 飲食等（設備）サービス時間  
イ) レストラン綺羅（本館ロビー階）  
7:00 ～ 10:00 17:00 ～ 21:00
  - (3) 浴場  
イ) 潮望の湯 和煦和煦（本館 3 階）  
5:00 ～ 11:00 / 13:00 ～ 1:00  
ロ) 展望浴場 天穹の湯（本館屋上）  
6:00 ～ 11:00（通常営業） / 15:00 ～ 22:00（貸切営業）
  - (4) 娯楽施設  
イ) カラオケコーナー（本館 3 階）  
11：00 ～ 24：00  
ロ) 麻雀ルーム（南館 2 階）  
24 時間営業
2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

## （料金の支払い）

- 第 12 条 宿泊客が支払うべき宿泊料金の内訳は、別表第 1 に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金の支払いは、通貨又は当ホテルが認めたクレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
  3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

## （当ホテルの責任）

- 第 13 条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行にあたり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものではないときは、この限りではありません。
2. 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

# 宿 泊 約 款

## （契約した客室の提供ができないときの取扱い）

第 14 条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得てできるかぎり同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

## （寄託物等の取扱い）

第 15 条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは 15 万円を限度としてその損害を賠償します。

2. 宿泊客が、当ホテル内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルはその損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15 万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

## （宿泊客の手荷物又は携帯品の保管）

第 16 条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際にお渡しします。

2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携行品が当ホテルに置き去られていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含めて 7 日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。

3. 前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第 1 項の場合にあっては前条第 1 項の規定に、前項の場合にあっては同条第 2 項の規定に準じるものとします。

## （駐車責任）

第 17 条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

## （宿泊客の責任）

第 18 条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

## 【別表第 1】 宿泊料金の内訳（第 2 条第 1 項、第 12 条第 1 項関係）

		内 容
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	1. 宿泊料
	追加料金	1. 飲食料
	税金	イ．消費税 ロ．入湯税

備考 1. 基本料金はフロントに掲示する料金によります。

## 【別表第 2】 違約金（第 6 条第 2 項関係）

利用開始予定日の

(1) 8 日前までに取消した場合	無料
(2) 7 日前から 4 日前までに取消した場合	料金の 30%（1 名当り）
(3) 3 日前から 2 日前までに取消した場合	料金の 50%（1 名当り）
(4) 前日に取消した場合	料金の 80%（1 名当り）
(5) 当日に取消した場合	料金の 100%（1 名当り）

■特別プランはキャンセル料が異なる場合あり

# TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

---

## Article 1 : Scope of Application

- 1-1 Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided for herein shall be governed by applicable laws and regulations etc and (Refers to laws and regulations or those based on laws and regulations. The same shall apply hereinafter.)/or generally accepted practices.
- 1-2 In the event that the Hotel has entered into a special contract with the Guest, then insofar as such special contract does not violate applicable laws and regulations etc and generally accepted practices, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions, notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph.

## Article 2 : Application for Accommodation Contracts

- 2-1 A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
  - (1) Name of the Guest(s);
  - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
  - (3) Accommodation Charge (based in principle on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1);
  - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
- 2-2 In the event the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

## Article 3 : Conclusion of Accommodation Contracts, etc.

- 3-1 A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it can be proven that the Hotel has not accepted the application.
- 3-2 When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (but only in an amount corresponding to 3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
- 3-3 The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then for cancellation charges under Article 6, and then for damages under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.
- 3-4 When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, this provision shall apply only in the case where the Guest is informed by the Hotel of the termination of the specified period of payment.

## Article 4 : Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit

- 4-1 Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
- 4-2 In the event the Hotel has not requested the payment of the deposit stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as though the Hotel has accepted a special contract as set forth in the preceding Paragraph.

## Article 4-2 : Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit

Article 4-2 The hotel shall provide the provisions of Article 4-2, Paragraph 1 of the Inns and Hotels Business Act (Act No. 138 of 1947) to those who wish to stay. You can ask for cooperation from.

## Article 5 : Refusal of Accommodation Contracts

- 5-1 The Hotel may refuse to accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following circumstances:

However, this paragraph does not mean that our hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

  - (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
  - (2) When the Hotel is fully booked and no room is available;
  - (3) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease;
  - (4) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene applicable laws or disrupt public order or morals in connection with his accommodation;
  - (5) When the Guest seeking accommodation is deemed as an organized crime group, a related company or association of an organized crime group, and any equivalent person of above.
  - (6) When the person seeking accommodation is a patient, etc. of a specified infectious disease, etc., as stipulated in Article 4-2, Paragraph 1, Item 2 of the Hotel Business Act (hereinafter referred to as "Patient, etc. of a specified infectious disease")

- (7) When violent demands are made regarding accommodation or a burden that exceeds a reasonable range is demanded (Act on Promotion of Elimination of Discrimination on the Grounds of Disability (2013)) No. 65 (hereinafter referred to as the "Act on Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities") (Excluding cases in which social barriers are requested to be removed pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2).
- (8) A person who intends to stay overnight may make a request to the Hotel that would impose an excessive burden on the hotel and that would seriously impede the provision of accommodation services to other guests, as specified in Article 5 of the Ordinance for Enforcement of the Hotel Business Act.

When what is specified in Article 6 is repeated.
- (9) When accommodation is not possible due to natural disasters, facility failures, or other unavoidable reasons.
- (10) Other cases falling under the provisions of prefectural ordinances, etc.

## Article 5-2 : Explanation of refusal to conclude accommodation

- 5-2 If the hotel does not accept the conclusion of an accommodation contract pursuant to the preceding article, the person seeking accommodation may request an explanation of the reason.

## Article 6 : Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest

- 6-1 The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.
- 6-2 In the event that the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes attributable to the Guest (except in cases when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No.2. However, in the event that a special contract as described in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, this provision shall apply only if the Guest has been informed of the obligation of payment of cancellation charges in the event of cancellation by the Guest.
- 6-3 In the event that the Guest does not appear by 8:00 p.m. on the accommodation date (or 2 hours after the expected time of arrival in cases in which the Hotel is notified thereof) without advance notice, the Hotel may deem the Accommodation Contract cancelled by the Guest.
- 6-4 When a reservation has been deemed cancelled in accordance with the previous Paragraph, the Hotel will not require payment of the cancellation charge if the Guest is able to prove that his failure to appear or notify the Hotel was due to the delay or non-arrival of a train, airplane, or other public conveyance and not to any cause attributable to him.

## Article 7 : Right to Cancel Accommodation by the Hotel

The hotel may cancel the accommodation contract in the following cases. However, this paragraph does not mean that our hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

- 7-1 When the Guest is deemed to be at risk of committing, or has committed, an act that violates the provisions of laws and regulations, public order, or good morals regarding accommodation.
- 7-2 When the Guest is deemed to fall under any of the following A to C: (a) When an organized crime group, an organized crime group member, a quasi-member of an organized crime group, a person associated with an organized crime group, or other anti-social forces (b) A corporation or other organization whose business activities are controlled by an organized crime group or members of an organized crime group (c) A corporation whose officers are classified as members of an organized crime group something that someone does
- 7-3 When a guest engages in behavior that causes significant inconvenience to other guests.
- 7-4 When the guest is a patient of a specified infectious disease.
- 7-5 When a violent demand is made regarding accommodation or a guest is asked to bear a burden that exceeds a reasonable range (as stipulated in Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act on the Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities) (Except when seeking the removal of social barriers due to
- 7-6 Article 5-6 of the Hotel Business Act Enforcement Regulations made by a guest to the hotel as a request that would impose an excessive burden on the hotel and could seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests. When you repeat what is specified in .
- 7-7 When accommodation is not possible due to reasons caused by force majeure such as natural disasters.
- 7-8 Others When applicable to cases stipulated by prefectural ordinances, etc.
- 7-9 When smoking while sleeping in the bedroom, tampering with firefighting equipment, etc., or otherwise disobeying the prohibited matters (limited to those necessary for fire prevention) set by the hotel. 2. When the hotel cancels the accommodation contract based on the provisions of the preceding paragraph, the guest will not be charged for accommodation services, etc. that have not yet been provided to the guest.
2. When the hotel cancels the accommodation contract based on the provisions of the preceding paragraph, the guest will not be charged for accommodation services, etc. that have not yet been provided to the guest.

## Article 7-2 : Explanation of cancellation of accommodation contract

- 7-2 If the Hotel cancels the accommodation contract based on the preceding article, the Guest may request an explanation of the reason.



Article 8: Registration of accommodation

- Article 8 Guests must register the following information at the front desk of our hotel on the day of their stay.
- 8-1 Name, address and contact information of the guest
  - 8-2 For foreigners who do not have an address in Japan, nationality and passport number.
  - 8-3 Other matters deemed necessary by the hotel.
2. If the Guest intends to pay the charges set forth in Article 12 using a method that can be substituted for currency, such as a traveler's check, accommodation voucher, or credit card, the Guest must present these in advance at the time of registration as set forth in the preceding paragraph.

Article 9: Occupancy Hours of Guest Rooms

- 9-1 The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3:00 p.m. until 11:00 a.m. the next day. However, in the case of continued accommodation, the Guest may occupy the room all day long, except for the days of arrival and departure.
- 9-2 The Hotel may, notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:
  - (1) Until 1:00 p.m. : 3,630yen

Article 10: Observance of House Regulations

- 10-1 The Guest shall observe the House Regulations established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

Article 11: Business Hours

- 11-1 The business hours of the main facilities of the Hotel are as follows (those of other facilities shall be indicated in detail by brochures to be provided, notices displayed in the respective areas, service directories in Guest rooms, and elsewhere):
  - (1) Front desk service hours: 8:00 a.m. – 11:00 a.m. / 3:00 p.m. – 10:00 p.m.
  - (2) Main entrance closing time: Midnight
  - (3) Service hours for dining and drinking
    - a) Restaurant Kira (lobby floor) 7:00 a.m. – 10:00 a.m. 5:00 p.m. – 10:00 p.m.
  - (4) Spa
    - a) Grand Spa Waku-Waku (3rd floor of main building) 5:00 a.m. – 11:00 a.m. 1:00 p.m.– 1:00 a.m
    - b) Roof top bath Tenkyu-no-yu (Roof of main building) 6:00 a.m. – 11:00 a.m. 3:00 p.m. – 12:00 a.m.
  - (5) Recreational Facilities
    - a) Karaoke (3rd floor of main building) 11:00 a.m. – 12:00 a.m.
    - b) Mah-jongg Room (2nd floor of south building) Available 24 hours a day
- 11-2 The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes. In such cases, the Guest shall be appropriately informed.

Article 12: Payment of

- 12-1 A breakdown of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is listed in the Attached Table No.1.
- 12-2 The Accommodation Charge, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by means other than Japanese currency, such as credit cards recognized by the Hotel, at the front desk at the time of departure of the Guest or upon request by the Hotel.
- 12-3 Accommodation Charges shall be paid even if the Guest chooses not to utilize the accommodation facilities provide by the Hotel at his disposal.

Article 13: Liabilities of the Hotel

- 13-1 The Hotel shall compensate the Guest in the event the Hotel has caused damage to the Guest in the fulfillment or the non-fulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, this provision shall not apply in the event that the cause of such damage is not attributable to the Hotel.

Article 14: Handling When Unable to Provide Contracted Rooms

- 14-1 The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable, with the consent of the Guest.
- 14-2 When arrangement of other accommodation cannot be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges. However, notwithstanding the foregoing, in the event the Hotel, the Hotel cannot provide accommodation due to causes not attributable to the Hotel, the Hotel shall not so compensate the Guest.

Article15: Handling of Deposited Articles

- 15-1 The Hotel shall compensate the Guest for damage when loss, breakage, or other damage is caused to goods, cash, or valuables deposited by the Guest in the safety box placed in the guest room, except in cases attributable to force majeure causes.
- 15-2 The Hotel shall compensate the Guest in the event loss, breakage, or other damage is caused intentionally or through negligence on the part of the Hotel to the goods, cash, or valuables brought onto the premises of the Hotel by the Guest but which are not deposited in the safety box. However, in the event the kind and value of articles in question have not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest only to maximum of 150,000 yen.

Article 16: Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest

- 16-1 In the event that the Guest’ s baggage is brought into the Hotel before his arrival, the Hotel shall be responsible for holding said baggage, provided that the Hotel has accepted the Guest’ s request to do so. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his check-in.
- 16-2 When the baggage or belongings of the Guest are found to have been left behind after his check-out, and ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article and ask for further instructions. When no instructions are given to the Hotel by the owner or when ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for 7 days (including the day it was found),and after this period,the Hotel shall turn it over to the nearest police station.
- 16-3 The Hotel’ s liability in regard to the custody of the Guest’ s baggage and belongings in the case of the provisions of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

Article 17: Liability in Regard to Parking

- 17-1 The Hotel shall not be liable for the custody of Guest’ s vehicle when the Guest utilizes the parking lot on the premises of the Hotel, as it shall be deemed that the Hotel has simply offered the space for parking, whether or not the vehicle’ s key has been deposited with the Hotel. However, the Hotel shall compensate the Guest for any damage caused intentionally or through negligence on the part of the Hotel in connection with the management of the parking lot.

Article 18: Liability of the Guest

- 18-1 The Guest shall compensate the Hotel for any damage caused intentionally or through negligence in the part of the Guest.

Attached Table No.1 Breakdown of Accommodation Charges

(Refer to Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

Contents		
Total amount to be paid by the guest	Accommodation charges	(1) Basic accommodation charge(room charge)
	Extra charges	(2) Meals & drinks
	Taxes	a. Consumption tax b. Spa

- 1. Basic Accommodation Charge is based on the tariffs posted at the front desk of the Hotel.

Attached Table No.2 Cancellation Charge for Hotels

(Refer to Paragraph 2 of Article6)